

令和7年度 図画工作科 授業改善推進プラン

大田区立入新井第二小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・多様な表現方法について学び、自分の思いに合わせて作品づくりの中で活用できるようになった児童がいる。
- ・児童のどんな力を働かせ、何をどのくらい伸ばすのか明確にしたことにより、自分の活動に価値を見出し、図工について主体的に取り組める姿が見られる。

(2) 課題

- ・知識技能には大きく差があり、支援的な手だてを必要とする児童が多い。
- ・評価が明確化されたためか、「できる」「できない」という価値観に固執する児童がおり、図画工作科の授業について自己肯定感の低い児童が多数いる。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|
| 児童が体験的に知識・技能を身に付けられるようにする。そのために手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使う活動を設定する。 | 楽しく発想や構想し、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げていけるように、児童の活動を認め、との都度評価を伝える。 | 児童がつくりだす喜びを味わい、生活を創造する態度を養えるように、児童の実態に合わせた材料、用具の選択を行うことで、児童の興味関心を高め、楽しい授業を展開する。 |

(2) 中学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|--|
| 児童が知識・技能を体験的に身に付けられるようにする。そのために丁寧な技能指導を行い、児童が実際に試したり、つくり方を工夫したりする時間を充実させる。 | 児童の豊かな発想や表現を継続的に次の学びへとつないでいく。そのために児童の活動を見取り、認めるとともに、児童自身が活動について言語化する機会を設定する。 | 児童が自ら考え活動することを認め、評価することにより、「できる」「できない」ではなく、活動すること自体に価値があることを実感できるよう指導する。そのために、特に造形遊びの活動を充実させる。 |

(3) 高学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|--|
| 児童が知識・技能を体験的に身に付けられるようにする。そのために丁寧な技能指導を行い、児童が実際に試したり、つくり方を工夫したりす | 児童の豊かな発想や表現を継続的に次の学びへとつないでいく。そのために児童の活動を見取り、認めるとともに、児童自身が活動について | 児童が自ら考え活動することを認め、評価することにより、「できる」「できない」ではなく、活動すること自体に価値があることを実感でき |

| | | |
|--|----------------------|--|
| <p>る時間を充実させる。 また、課題のある児童でも取り組める活動を常に提案できるようにする</p> | <p>言語化する機会を設定する。</p> | <p>るよう指導する。そのために、特に共同的な学びを取り入れることで、友達と活動を共有し、自信をもって活動できるようにする。</p> |
|--|----------------------|--|